

令和7年度 第1回文化財保護委員会 会議録

開催日時	令和7年6月4日 水曜日 13時30分から14時30分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム2
出席者	島崎直人委員長、古宮雅明副委員長、細井守委員、宮原俊一委員 井上太郎委員、和田智司教育長
事務局	松本教育部長、二見生涯学習班長、石坂副主幹 中山会計年度任用職員
その他	傍聴者 なし

会議記録

(司会：二見生涯学習班長)

1. 開会

2. 教育長挨拶

3. 自己紹介

出席者及び事務局

4. 議題

(1) 令和7年度文化財保護関係事業及び予算について
事務局より資料に基づいて説明【資料1】

(委員)

試掘調査の件数はどのくらいあるのか。

(事務局)

届出が提出されると、掘削深度などから試掘が必要かどうかを決める。昨年度は1件だった。

(委員)

試掘調査で遺物は発見されたのか。またその結果によって発掘調査を行なうのか。

(事務局)

新庁舎が建設される果樹公園の一部を試掘し、遺物と遺構が確認された。現在、県の教育委員会と調整しているが、発掘調査を行なう予定。

(2) ラディアンギャラリー展示について
事務局より資料に基づいて説明【資料2】

(委 員)

「二宮町のあゆみ」を展示するとのことだが、二宮町が長寿の里といわれるようになったのはいつ頃か。

(事務局)

「長寿の里」として初めて新聞で紹介されたのが昭和5年。その後戦後しばらくまではその話題が各種新聞に取り上げられ、二宮町が長寿の里として印象付けられた。

(委 員)

二宮は温暖で住みやすい土地柄のため、平均寿命は長かったかもしれない。「長寿の里」はその後の町おこしのキャッチフレーズとなった。

(委 員)

町制90周年をきっかけとして町の歴史や文化を発信することは有意義である。

(3) その他 (非公開)

5. 閉会